

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
腎細胞癌 アベルマブ・アキシチニブ併用療法		14日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
day1	① 生食50mL(プライミング用) ② <b>アベルマブ</b> 10mg/kg+生食250mL 点滴開始30分前までにアセトアミノフェン錠500mgと ジフェンヒドラミン錠50mg内服。 0.2μmのインラインフィルター使用 調製後4時間以内に投与終了 ③ 生食50mL(フラッシュ用)		
day1-14	<b>アキシチニブ</b> 5mg/回 1日2回朝夕食後		
コメント	アキシチニブ 5mg/回 1日2回 d1-14内服 点滴開始30分前までにアセトアミノフェン錠500mgとジフェンヒドラミン錠50mg内服。		

プロトコールに関する解説
<p>根治切除不能または転移性の腎細胞癌の1次治療として有効性が示されている注射薬と内服薬の併用による治療法です。臨床試験により、従来の血管内皮細胞増殖因子受容体チロシンキナーゼ阻害剤単剤と比較し、有意な治療成績が示されており、新たな標準治療のひとつと認められました。薬剤の特性の理解や急性輸注反応をみるため、開始に際しては数日程度、基本的には入院をしていただきます。また、重篤な副作用の出現も認められ、必要に応じて減量、休薬や中止、さらには副作用の対応のための緊急入院が必要となることがあります。</p>